

社団法人 大阪府臨床検査技師会

平成 23 年度第 2 回定期総会（平成 24 年度予算総会）

議 事 録

日時 平成 24 年 3 月 22 日（木） 午後 7 時 00 分～同 8 時 00 分
場所 社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所

- 次第
1. 開会の辞
 2. 表彰
 - 1) 永年会員表彰
 3. 議長選出
 4. 議長挨拶
 5. 総会役員選任
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 6. 会長挨拶
 7. 資格審査報告
 8. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 平成 24 年度各部事業計画案に関する件
 - 2) 第 2 号議案 平成 24 年度予算案に関する件
 - 3) 第 3 号議案 平成 24・25 年度役員選任に関する件
 - 4) 第 4 号議案 その他
 9. 議事録署名人選任
 10. 総会役員解任
 11. 閉会の辞

議事録（概要）

1. 開会の辞
定刻どおり、司会の運天副会長より平成 24 年度予算総会開会の辞があった。
2. 表彰
 - 1) 永年会員表彰
永年会員表彰対象者 77 名を代表して前田富士子氏（ガラシア病院）に、今井会長より永年会員表彰が授与された。
3. 議長選出
議長の選出については総会出席者の中から立候補がなかったため、執行部に一任され、司会の運天副会長より、伊東千絵氏（小阪産病院）、堀田真希氏（大阪大学医学部附属病院病院）の 2 名の提案があり出席者の挙手をもって承認された。
4. 議長挨拶
伊東議長より、議長就任の挨拶。
5. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
伊東議長より、資格審査委員兼議事運営委員として、理事から高田理事、荒木理事の 2 名と、出席者から石田繁則氏（大阪市立大学医学部附属病院）、川本英子氏（りんくう総合医療センター市立泉佐野病院）、藤野恵三氏（大阪市立大学医学部附属病院）の 3 名が選任され、両委員会の委員長に高田理事が選任された。
 - 2) 書記任命

伊東議長より、社団法人大阪府臨床検査技師会事務所職員の岩崎和子氏、出口由紀子氏が任命された。

6. 会長挨拶

本日は、多数の方にお集まり頂きまして有難うございます。平成 23 年度第 2 回定期総会において平成 24 年度の事業計画案と収支予算計画案を報告いたしますので、どうかご審議の程よろしく願いいたします。

7. 資格審査報告

高田資格審査委員長より資格審査報告があり、本日の会員出席者数 32 名、委任状数 2140 名、計 2172 名で、平成 24 年 3 月 22 日現在の正会員数 3,057 名の過半数を超えており、本総会は成立するとの報告があった。当報告を受け、伊東議長より定款 22 条に基づき本総会の成立宣言がなされた。

ここで、議長を堀田氏に交代した。

8. 議案審議

1) 第 1 号議案 平成 24 年度各部事業計画案に関する件

1. 総括

平成 24 年度は大臨技にとって大きな記念すべき年、歴史に残る年になるのではないかと考えています。まず一つは公益社団法人への移行、もう一つは、日臨技の一般社団法人化から派生するさまざまな変更であります。日臨技の一般社団法人化に伴って近畿に関西支部という組織が新たに出来ました。近畿にはすでに従来からの近臨技という組織があり、その近臨技と関西支部とのすみわけがまだどのようなものになるのかよくわかっていません。また、一般社団法人としての日臨技と公益社団法人としての大臨技との関係もこれまでとは違ったものになることも考えられます。これまでいろいろな混乱でみなさまにご迷惑をかけ、今後も想定外の混乱がみられることも十分に予想され、会員のみなさまには何かご迷惑をおかけすることになるかもしれません。どうかご理解いただけますようお願い申し上げます。

公益社団法人への移行についてですが、昨年平成 23 年の秋に臨時総会を開き、新定款を承認していただき、予定では平成 24 年度早々の移行を考えておりましたが、新定款の一部修正などの指導があり、現在予定が少し遅れております。公益社団法人化は大臨技がここ数年来もっとも力を入れ取り組んできました。平成 24 年度中には必ず移行できるよう引き続き鋭意努力いたしますので、しばらくお待ちいただくようお願いいたします。

平成 24 年度の事業について、従来どおり会員の資質の向上と、大阪府民の健康と福祉のための事業をめざすことが大臨技事業の基本的なスタンスです。さらに付け加えるならば、公益社団法人として、その名にふさわしく、その名に恥じないよう、これまで以上に強い意識をもって役員一同大臨技の活動を進めていきたいと決意も新たにしております。特に、各種事業の中でも大臨技がもっとも得意とする学術活動ですが、学術部のみならず、地区事業部、情報組織部、渉外部の各部からも数多くのプログラムをご用意し、みなさまに満足していただけるものと自負しておりますのでご期待ください。なお、公益社団法人化を目指すようになり、研修会・勉強会に、一部のプログラムで臨床検査技師以外の医療職種の方々や一般府民のみなさまにも自由に参加していただけるよう講座を公開しており、24 年度も同様の方針でまいります。会員のみなさまが会場で臨床検査技師以外の方々と席を並べる機会がますます増えることが予想されますが、その際にはいっしょに学んでいただければと願っています。事業の詳細につきましては、このあとそれぞれ担当副会長からご提案をさせていただきます。

最後に、平成 24 年度も会員のみなさまのご理解とご協力をいただきながら活発な事業活動を展開していく方針ですので、みなさまの充分なるご審議をお願いいたします。以上をもちまして私のほうからの総括の言葉とさせていただきます。

2. 事務局計画案について

平成 24 年度事務局事業計画案を報告します。ご存知のように事務局は、総務部と会計部、渉外部で構成されています。総務部は庶務と広報の役割を担っています。平成 24 年度は事務局として新法人大阪府臨床検査技師会移行後の組織体制を整備します。

1. 事務体制の確立と強化を図る 1) 会員管理システムを充実させる 2) 大臨技臨床検査技師賠償責任保険を管理する 3) ホームページや大臨技情報紙（大臨技ニュース等）を充実させる 4) 財務管理を充実させる
 2. 新定款に沿った各種規程案を作成し、理事会で検討する
 3. 府民、関連団体との交流を推進する
 4. 府民公開講座を開催する
 5. 社会貢献活動を推進する 1) 献血活動に協力する 2) 予防啓発事業を推進する ①がん征圧月間啓発活動（9月、10月）②エイズ、S T I 予防啓発教育事業
- 以上、事務局事業計画案について、ご審議よろしく申し上げます。

3. 事業局計画案について

平成 24 年度の学術部方針ですが、ニュースに掲載のように4つの目標を立てて事業を進めていきたいと考えています。

1 番目の主事業である部門別研修会・講演会の開催です。例年 100 前後の事業を展開していますが、24 年度も各部門世話人の方々の積極的な活動により、公益事業を中心に例年通りあるいはそれ以上の事業を展開していきたいと考えております。公益事業である学術部講演会は、9 月と 2 月の 2 回開催を計画しています。医療職として必要な話題をテーマとして臨床検査技師だけでなく多くの医療関係者や府民の方が参加できるものを企画したいと思っております。

2 番目の他の事業部への協力ですが、具体的な事業の共催ではなく部門を超えた講師の交流などにより各事業部の事業に貢献できるように考えております。

3 番目の他団体との学術交流活動への対応ですが、具体的には渉外部が主催する大臨技・大放技合同フォーラム、大阪府薬剤師会・栄養士会と合同開催である府民健康フォーラム、看護協会の看護の日にも積極的に関わり、少しでも事業の発展に関与したいと思っております。

4 番目の教育研修セミナーの開催も 24 年度で第 7 回を数え学生の方に大臨技の紹介の場として定着した観があります。毎年各学校の教務の先生方のご尽力で多くの学生の方の参加があり、各学校 OB の方の体験談や教育講演・特別講演を織り交ぜて学生に対し多くの情報を発信し、技師会への入会をアピールしたいと考えております。

以上のように学術部は 24 年度も会員の方だけでなく多くの方が興味を持って積極的に参加できるような事業展開をして行きたいと考えています。

情報組織部では、

- (1) 新入会員研修会（8 月、会場：大臨技事務所）
新入会員、未入会者を対象に技師会活動について理解を深めるための研修会
- (2) 技師長会（2 月、会場未定）
検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携をとり、組織の強化につなげる
- (3) 他職種合同研修会（9 月、会場未定）
検査技師および他職種医療従事者を対象とした口腔ケアに関する横断的研修会
- (4) その他
チーム医療部門との連携により、技師のチーム医療への参画を支援

【チーム医療部門】

1. 糖尿病療養指導部会

- (1) 糖尿病療養指導定例勉強会（4 月、6 月、9 月、12 月、会場：大阪鉄道病院）
テーマ：糖尿病療養指導における知識と技術の向上
糖尿病療養指導士の資格啓蒙、スキルアップ、認定単位取得
- (2) 糖尿病療養指導士講演会（7 月、2 月、会場：大阪大学中之島センター）
テーマ：糖尿病療養指導の充実および他職種との連携

2. I C T 部会

- (1) 定期講習会 1（6 月、会場：関西医科大学附属枚方病院）
テーマ：I C T 活動のさらなる発展に貢献するために アウトブレイクへの対応について
- (2) 定期講習会 2（12 月、会場：関西医科大学附属枚方病院）
テーマ：I C T 活動のさらなる発展に貢献するために 地域における感染対策

3. N S T 部会

- (1) N S T 講演会 1（6 月、会場未定）

- テーマ：チーム医療として 糖尿病チーム等のチーム医療での合同講演会を計画
(2) NST講演会 2 (10月、会場未定)
テーマ：NST認定試験対策 NST専門療法士を目指して

4. 生殖医療技術部会

- (1) 生殖医療講演会 (2月、会場：大阪鉄道病院)
テーマ：精子に関する講演 (予定)

5. 緊急検査部会

適切に正確な検査結果を遅滞なく提供できる知識を持った“緊急検査の匠”の育成勉強会を年間3回、府民対象フォーラムを年間2回の開催

6. 内視鏡検査部会

臨床検査技師から見た内視鏡検査全ての勉強会を他職種合同で年5回開催予定

地区事業では、

- 1) 地域の会員相互の交流強化
- 2) 各支部における自由集会及び、地域オープンセミナーの開催
- 3) 府民参加型健康啓発事業に関する協力

事業として

- (1) マタニティカーニバル2012 (7月7日・8日、会場：大阪南港 ATC)
- (2) 会員交流会 (9月頃、会場未定)
- (3) 施設連絡者会 (2月頃、会場未定)
- (4) 各地区 (北・中央・南) それぞれ1回の自由集会と1回の地域医療フォーラムの開催
- (5) 健康展：吹田市、豊中市、摂津市の予定

以上の第1号議案「平成24年度各部事業計画案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

2) 第2号議案 平成24年度予算案に関する件

「平成24年度予算案に関する件」については別紙「収支予算案」をもとに前年度比較増減を中心に説明があった。

収入の部では、会費収入について増減なしで1,920万円。事業収入と補助金収入について昨年は、日臨技収入が定かではなく0としたが、24年度は生涯教育として176万と助成金136万を計上して収入合計3,633万円とした。

支出について、公益法人移行に伴い公益と共益のバランスを執るため、3月号ニュース予算案掲載の一部変更により事務経費の通信費20万と広報費の会報印刷を電子媒体に変更することにより85万のマイナスで計105万を学術研究費にプラス予算とした。

支出の部1では、人件費増減はなく716万円。会議費15万減で75万円、事務経費46万減で379万。事務所費15万減で299万。支出の部1小計で1,469万円を計上した。

支出の部2では、学術研究費168万減で1,097万円。広告費111万減で214万円。情報組織費は1万減で149万円。渉外費は、3万減で151万円。地区事業費は4万減で119万円。各種研修会費は同額45万。各種委員会費同額134万円。諸経費は25万減で255万円。支出の部2小計で2,164万円を計上した。本年度は支出の部1,2を合計した当期支出は388万円減額の3,633万円を計上した。

以上の第2号議案「平成24年度予算案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

3) 第3号議案 平成24・25年度役員選任に関する件

選挙管理委員会を代表して辻委員長より、役員推薦委員長より候補者の提案があった平成24・25年度役員候補者について報告があり、役員選挙規程第5章第14条及び5章第15条に基づき選挙告示及び役員候補者名簿を会員に公示した結果、役員候補者のうち会長、副会長及び幹事については定数内のため役員選挙規程第5章・第27条に基づき信任投票を省略することを本総会に提案があった。また、理事についても役員選挙規程第4章・第8条に基づき選任の提案があった。

以上の第3号議案「平成24・25年度役員選任に関する件」は、質問、意見なく挙手多数をもつ

て承認された。

4) 第4号議案 その他

会員の岡本秀雄氏（住友病院）から、昨年に続きに血液部門はシニア・ジュニアコースについて勉強会のあり方をどう考えているか問うた。

今井会長から、質問等に関しては事前に書面として提出をお願いするとともに、再度検討すると答えた。

9. 議事録署名人選任

堀田議長より、議事録署名人として本日出席者の中から、山内一浩氏（市立豊中病院）、稲田孝氏（星ヶ丘厚生年金病院）の2名が選任された。

10. 総会役員解任

堀田議長より、平成23年度第2回定期総会の議案審議の終了が宣言され、総会役員は解任された。

11. 閉会の辞

竹浦副会長より平成24年度から会員証の提示の義務付けにより会員と非会員の区分実施することを伝えられ、平成23年度第2回定期総会閉会の辞とした。（午後8時00分閉会）

平成24年3月22日

議事録署名人

印

同

印